

一般質問

教育の充実について

Q 市内小中学校に勤務する教職員の中で、臨時的任用教職員の割合が多くなっています。今年度の状況について

A 小学校19人で8%、中学校22人で16.5%となっています。

Q 地方公務員法22条の規定により、臨時的任用教職員の勤務任期は最長で1年間となつていますが、学校の現場の状況を考慮すると、現実と乖離(かいり)している点が多い。教育委員会としても、法の改正を含めて、関係機関に要望する必要があると思ひますが教育委員会の考えは?

A 教育とは、教職員がまず地域を知り、保護者や児童・生徒との信頼関係を構築し、その上に成り立ちます。信頼関係を築くには時間がかかるものであり、1年間の任期期間では、信頼関係を築くことが出来た時に異動という場合があります。平成19年度当初人事では例外的が認められ、同一校で2年まで任用が可能でしたが、平成20年度当初から、法令に基づいた任用を行うように県からの指導がありました。

教育委員会としても、引き続き同一者を任用出来るように、教育長協議会、県の人事担当者会等で要望をしていきたい。

●和宏の意見・考え方

この質問は、私自身PTA会長を務めている中で、年々「臨任教員」が増加している事に危惧を抱き、質問をしました。臨時的という言葉どおり、「短期的な雇用」である事は理解出来ませんが、果たして教育の現場でこの「制度」が相応しいのか疑問です。

小学校の場合、臨任教員の大半がクラス(学年)の担任を受け持っているのが現状であり、結果その先生は1年で他の学校へ...また翌年も...こんな状況が続く場合も、会社に例えると、会社の社員が約10%、16%、毎年入れ替わった場合、「経営に支障がまったくない」とはいえないと思ひます。

学校の場合、運営・経営は数年単位で進める分野もあり、今の制度では、効率的な

運営が難しいと理解しています。また、児童・生徒・保護者の立場でも、担任がコロコロ代わってしまう事などを考慮しても弊害が多いと思ひます。

過去3年間のデータでも年々、臨任教員の割合が増加傾向にあります。今の制度が全て悪いとは言いませんが、あまりにも現実とかけ離れていると私は感じます。

駅前公園について

Q 八潮駅南口に建設が予定されている、公園について、開園の時期・市としてどんな公園を考へているか・市民からの要望等はどのように取り入れるのか?

A 開園の時期については、現在、土地区画整理事業を進めている中で、残土等のストックヤード等に一時使用している状況であり、すぐには着手できない状況。

公園面積が約1万4千平方メートルと比較的広いことから、災害時における防災機能や、市民等によるイベントの開催等、人が集える空間に確保等を配慮して検討する。

公園の設計段階から、公園のコンセプトや施設設置などについて、ワークショップやアンケート調査を考へている。

●和宏の意見・考え方

八潮駅周辺も北口側はある程度、街の輪郭が形成されてきました。南口も平成21年度の「まち開き」を目指して整備が進んでいます。その中心(シンボル)となるべく「公園」

現段階では、公園の内容については「白紙」の状態です。

面積としては、八潮メッセ前にある中央公園よりやや大きい広さの公園です。私は、これからの時代は、行政側が一方的に公園の内容を決定するのではなく、計画段階から利用を考へている近隣住民等を含めた市民を「参画」してもらう必要があると思ひます。

もちろん、多くの人が集えば、様々な要望や意見があり、收拾がつかない場合も予想されますが、様々な意見の「最大公約

し、出来れば利用者側(NPO団体等)が管理・運営する仕組みになればと考えています。

理想論かも知れませんが、管理・運営の費用の面からも行政が管理した場合と、民間が管理した場合との費用比較はかなり違ってくると思ひます。

市民の皆さんが利用しやすい、愛着のある公園をつくる必要があると私は考へます。

補助金改革について

Q 以前もお聞きしましたが、市内の各種団体に対する補助金のあり方について、昨年度「市民政策提言会議」において議論しましたが、どのような結論になったのか?

A 補助金が、より適正かつ有効の機能するように務めていきたい。また補助金制度について、社会情勢や市民ニーズの変化等に対応できるように、継続的に検討する。

●和宏の意見・考え方

市長(執行部側)の姿勢は前回とほとんど変わっていないと感じました。

補助金のあり方について最終決断するのは市長だと私は思ひます。もちろん市長は議員と一緒に、「選挙」によって、選ばれることになり、削減はしたが、「実施すれば、反発が怖い...」のが本音ではないでしょうか?

でも、トップの姿勢というものは、一時的な感情論に左右・影響されているとは、何も改革は出来ないと思ひます。私は補助金がすべて悪いとは思ひません。ただ、一部既得権化している補助金があると感じています。その一方で、本市は、行政に代わる新しい担い手、団体(NPO等)の育成が遅れていると考へます。これからの時代、行政の立場は、自分達だけでは、活動がままならない団体に補助金を交付し、育成する必要があるのであれば、どうするか?

(紙面の都合上、一部割愛してあります。詳細は市議会のホームページを参照下さい)

傍聴 うおちんぐ!!

○今回、仕事が休みだったので、友人に誘われて、初めて議会を傍聴しました。

傍聴した感想は、議員と職員とのやり取りの中で、市政の課題や問題点が解り、大変勉強になりました。また私自身、今回の体験で、市民側も議会に、もっと関心を持たなければならぬと感じました。これには議員・議会側の努力も必要だと思ひます。

是非、議員・議会側も市民が参加(傍聴)しやすい環境(例えば休日議会や夜間議会など)を作っていただけると有り難いと思ひます。

